

江津更生保護

第71回
社会を明るくする運動
特集号

発行者
浜田地区保護司会
江津分区



「うあいさつ」

江津市長 山下 修

更生保護関係者の皆様におかれては、日頃から崇高な使命感のもと、罪を犯した人々の更生にむけ、献身的に活動いただき、心より感謝申し上げます。

また、日頃より青少年の非行防止活動、犯罪予防活動に努め、明るく健全な地域づくりに多大なご貢献をいただき、感謝申し上げます。

さて、刑法犯罪は平成十四年に戦後最多となった後、減少を続け、令和二年も前年に引続き、戦後最少を更新しま

した。しかし、特殊詐欺、児童虐待、サイバー犯罪などは増加あるいは減少幅が小さく、現在も予断を許しません。また、近年若者を中心に、大麻取締法違反の検挙人員が急増しています。多くの薬物乱用者が大麻を入口とし、より依存性や副作用の強い薬物へ手を出している現状があります。SNSなどを通じて簡単に入手できることを背景に、若年層の大麻汚染は全国で深刻化しています。昨年、大学スポーツの名門チームの大麻

使用が、相次ぎ発覚しましたが、ここ島根県内においても、大麻を栽培、所持したとして、前年につづき本年も若者が逮捕されています。大麻乱用者は、更に強い刺激を求めて覚醒剤などに移行する可能性があり、大麻の恐ろしさを伝え、薬物を拒絶する社会環境づくりを推進することが急務となっています。

現在、我が国の犯罪情勢は、全体として改善傾向が続いているものの、入所受刑者に占める再入者の割合は、令和元年において五十八%と高い状況です。このような状況下において、再犯防止対策の更なる充実強化が求められています。

「犯罪に戻らない・戻さない」ためには、多くの人たちの手によって、長期間の支援が必要であり、地域社会の理解と協力、関係機関との連携が欠かせません。皆様方も、罪を犯し立ち直ろうとする人に寄り添い、社会とのつながりを取り戻すため、懸命に活動いただいています。

本市といたしましても、地域社会と連携して、非行や犯罪の無い町づくりを目指してまいりますので、今後も引き続き、「安心して暮らせるまち江津」の実現のため、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。



「社会を明るくする運動」#生きづらさを、生きていく

浜田地区保護司会
江津分区長 村川 立美

昨年来、新型コロナウイルスは、私たちの日常生活に大きな影響をもたらしました。

このような中、更生保護の活動が制限され、更生保護に携わる私たちにとつても試練の年となっています。

第七十一回「社会を明るくする運動」が七月一日より生きづらさを、生きていく。をテーマに犯罪や非行を防止

し、「立ち直りを支える地域のチカラ」のもとに実施されます。

更生保護に携わる人にとつて、立ち直ろうとしている人たちの「生きづらさ」に関わる場面が今後多くなっていく事となり、特に新型コロナウイルス禍の中にあつては、今まで当たり前であった人とひとの触れ合いが難しくなり、孤独や、

社会的孤立が生まれ、その孤独・孤立によって犯罪や非行をした人たちの「生きづらさ」が浮き彫りになり再犯を犯してしまう事が増えてくるように思うのは私だけでしょうか。

しかしながら、立ち直ろうとしている人たちがいる限り、更生保護に携わる、地方行政・保護司・協力雇用主会・更生保護女性会・BBS会と連携を深めながら、乗り越えて行かなければなりません。地域の皆様方には、本運動をご理解いただき犯罪のない

明るい町づくりにご理解ご協力を頂きますようお願いいたします。

結びに、生きづらさに寄り添い「立ち直り」を支援するためにも市民の皆様お一人おひとりのご理解とご協力をいただきながら「安心で・安全なまち江津」を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、活動の自粛や各種のイベント中止により、掲載記事も少なく紙面を、四ページとさせていただきます。

標語作品表彰

標語作品は毎年、市内4中学校から応募がありますが、令和2年度は4月からコロナウイルス緊急事態宣言により休校措置がとられ、再開後の授業時間確保などで多忙の中、桜江中学校のみ1校から応募がありました。



表彰状伝達

審査の結果、最優秀賞1点及び優秀賞14点を選び、9月25日、小川江津市社会福祉課長、盆子原分区長ほか関係役員が桜江中学校を訪問し、最優秀賞を受賞した2年生の高崎純瑛さんへ表彰状と副賞を伝達しました。

その後、校長先生と懇談し、応募いただいたことに感謝を伝え、また学校の様子などを伺い表彰式を終えました。

最優秀賞作品 「大丈夫 いつも近くに 味方がいる」

内閣総理大臣メッセージ伝達

令和2年度は緊急事態宣言の中、コロナ対策や三密回避を徹底する規制に沿って、6月25日保護司会から分区長以下6名で山下江津市長を訪問しました。

盆子原分区長が内閣総理大臣のメッセージを伝達し、7月1日から“社会を明るくする運動”の強調月間のスタートに向けて、啓発事業や学校連携事業など創意工夫しながら、江津市をはじめ関係機関と連携し事業を推進することなど有意義な意見交換を行いました。



山下市長へメッセージ伝達

令和2年度江津分区表彰保護司

- 全国保護司連盟理事長表彰 藤田 厚
- 中国地方保護司連盟会長表彰 千代延尚子
- 松江保護観察所長表彰 鍛治恵巳子
- 江津市社会福祉協議会会長表彰 豊田 統夫

保護司の異動

- 退任保護司 牛尾 絹子 令和2年5月31日付
- 退任保護司 山根 英毅 令和3年5月31日付
- 新任保護司 押越 明子 令和2年12月1日付
- 新任保護司 三町 武 令和3年6月1日付

令和3年度浜田地区保護司会江津分区役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	盆子原 民生	研修部長	和原 勝博
分区長	村川 立美	犯罪予防部長	三瀧 香順
副分区長	藤田 厚	協力組織部長	福間 徹雄
事務局長	永妻 壽則	監事	神山 哲夫
会計	村上 博行	〃	富金原 晴江
総務部長	三上 良紀		

《部会構成名簿》

部会名	部長	副部長	部会員
総務	三上 良紀	千代延尚子	村川立美 門屋臣 鳥田修二
研修	和原 勝博	神山 哲夫	鍛治恵巳子 盆子原民生 押越明子
犯罪予防	三瀧 香順	村上 博行	藤田 厚 富金原晴江 三町 武
協力組織	福間 徹雄	福富 孝男	豊田統夫 藤代雅充 永妻壽則

《社会貢献活動担当保護司》

門屋臣

《地区作文審査委員》

豊田統夫

《「江津更生保護」編集委員》

神山哲夫 和原勝博 村上博行 鍛治恵巳子 永妻壽則

編集後記

江津更生保護特集号の発行にあたり、江津市長様には、ご多忙中にもかかわらず玉稿を賜り誠にありがとうございました。今や世界中「新型コロナウイルス」の拡大により各種イベントが中止になっておりますが、浜田地区保護司会江津分区においては、行政や更生保護関係機関と協議連携しながら活動して参りますので、引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。

編集委員一同



令和二年度

島根保護観察協会
江津地区会員名簿

【特別会員】

(敬称略)

【賛助会員】

(敬称略)

【協力会員】

(敬称略)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 浅利観光株式会社
代表取締役 植田 裕一 | 播磨屋林業(株)
代表取締役 尾前 豊 | 株式会社 ワイエム商会
代表取締役 宮津 秀行 | 長谷地域コミュニティ交流センター
センター長 松田 明信 |
| 福田水産株式会社
代表取締役 堀江 成 | 磯江化工(株)
代表取締役 堀江 成 | 大成電気水道工業(株) 江津営業所
代表取締役 宮津 秀行 | 有福温泉地域
コミュニティ交流センター
センター長 横田 弘昭 |
| 日本製紙株式会社
江津工場
代表取締役 田才 英幸 | 永井運送
代表取締役 永井 敏則 | オオアサ電子(株) 江津工場
代表取締役 江津 啓一 | 門 屋臣
門 哲子 |
| 永島青果株式会社
代表取締役 今井 久師 | 桐ツチヨシ産業 江津工場
代表取締役 田才 英幸 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 佐々木節也
佐々木裕美 |
| 今井産業(株)
代表取締役 今井 久師 | 服部工業
代表取締役 服部 良之 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 豊田 統夫
豊田 智子 |
| 永井建設(株)
社長 永井 武彦 | 岡田建設
代表取締役 岡田 誠 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 富金原真慈
富金原晴江 |
| 江津土建(株)
社長 室谷 卓治 | 青笹 輝和 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 福富 孝男
福富 優子 |
| 江津大整備工業
代表取締役 永井 憲雄 | 渡邊 秀 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 盆子原民生
盆子原久恵 |
| 株式会社教育研究所
代表取締役 七田 厚 | 有限会社 アイネット
代表取締役 渡邊 秀 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 沖田のり子
横田 淳子 |
| ㈱原工務所
代表取締役 佐々木賢一 | 鹿取建材(有)
代表取締役 佐々木啓之 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 大坂 英晃
山中 康徳 |
| ㈱丸惣
代表取締役 渡辺 浩一 | 泉文盛堂(有)
代表取締役 松浦 元則 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 黒川 一之
小武 久方 |
| 酒の山尾(有)
代表取締役 山根 英毅 | ㈱中央
代表取締役 森口 尚登 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 山藤 一之
山藤 美和 |
| (有)浅利タクシ
代表取締役 山根 英毅 | (有)吾妻
代表取締役 浅野 知宏 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 砂田 忠
田中 直文 |
| (有)石見浄化槽センター
代表取締役 山根 英毅 | (有)井上建材店
代表取締役 井上 益雄 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 高橋久美子
千代延尚子 |
| (有)江津衛生公社
代表取締役 井上 益雄 | (有)井上製作所
代表取締役 井上 益雄 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 中村 瑠子
中村 文子 |
| (有)武田石油店
代表取締役 井上 益雄 | (有)後山工務店
代表取締役 後山 宏昌 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 野海 豊
野津恵智子 |
| 医療法人心和会
代表取締役 船津 康裕 | (有)江津塗装
代表取締役 森口 裕行 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 原田ミヤ子
福原 昭平 |
| 医療法人恒仁会
山脇整形外科医院
代表取締役 森口 裕行 | (有)島根環境保全センター
代表取締役 森口 裕行 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 藤田 厚
船津 正雄 |
| 島根県議会議員
坪内 涼二 | (有)田中電設
代表取締役 田中 壽 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 村上 博行
村川 立美 |
| 江津市副市長
藤田 裕 | (有)もりでん
代表取締役 森脇 幸雄 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 森口 直幸
森脇 輝 |
| 江津市市議会
太田 篤子 | 江津市民生部門参事
室 章典 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 藤木 さぬ
藤代 雅充 |
| 江津市教育委員会
教育長 小笠原 隆 | 立川不動産
立川 雄三 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | 永妻 壽則 |
| 嘉久志連合自治会
代表取締役 立川 雄三 | ビューティサロンヴェルス
代表取締役 本藤 繁夫 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | |
| 桜江ライオンズクラブ
代表取締役 本藤 繁夫 | ゆめタウン江津
代表取締役 吉田 茂 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | |
| 江津市更生保護女性会
会長 山脇 里美 | 吉田米穀店
吉田 茂 | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | |
| 山原商店 | | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | |
| 大源 洋子 | | 西戸崎興産(株) 島根事業所
代表取締役 森崎 健一 | |

お 礼

今年度も多くの会員の皆様にご協力頂き観察協会費の納入額は、お陰様で目標を達成することが出来ました。

心よりお礼申し上げます。

納入頂いた会費は更生保護に有意義に活用させて頂きます。

中学校「おはよう！」 挨拶キャンペーン

「社会を明るく運動」は、すべての国民が、犯罪や非行防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動が展開されます。

浜田地区保護司会江津分区分では、令和二年度、第七十回「社会を明るくする運動」の一環として、七月三十日(木)江津市内の四中学校へそれぞれに、江津分区分の保護司二十名が分かれて担当し登校する生徒に「おはよう」挨拶キャンペーンを行ないました。

江津中学校

浜田地区保護司会江津分区分 村 川 立 美

江津中学校を担当した私は、登校してくる生徒の中に、小学校から知っている生徒を見つけると、とても懐かしく、大きな声で「おはよう」とあいさつをすると、大きな声で「おはようございます。」とあいさつが返ってきます。中には、知っているおじさんと分かると恥ずかしそうにあいさつしてくる生徒もいました。

挨拶キャンペーン終了後、それぞれの学校では、校長先生・担当教師と懇談会を行いました。まず、「更生保護」についてリーフレットを配布し説明いたしました。

犯してしまった罪をつぐない、社会の一員として立ち直ろうとする人の手助けをする。学校の様子では、生徒は比較的落ち着いている。夢を実現する(自己指導能力)を高めることを目標に、授業を進めている。SNSのトラブルについては、専門家による講演会を開催し知識を高めている。夏休みが短いので、しっかり計画を立てて、充実した夏休みをすることを、生徒と話し合っている。

学校の様子もわかり、短い時間であったが、とても有意義な時間でした。

桜江中学校

浜田地区保護司会江津分区分 千代延 尚 子

江津分区分は旧江津市と旧桜江町(川越・谷住郷・川戸・市山・長谷)から構成されています。桜江では、「社会を明るくする運動」のキャンペーンとして、中学校早朝「おはようキャンペーン」を実施しています。登校する生徒にキャンペーン用品を渡し、あいさつ運動と社明運動の趣旨を呼びかけています。生徒たちは、保育所時代の面影はなく驚くほど立派に成長し、「おはようございます」と大きな声で、又ちよっぴり恥ずかしそうに挨拶してくれました。キャンペーン終了後は、校長先生・教頭先生・保護司との懇談がありました。その中で、先生方は地域の人のふれあいや情報・交流を深めていらいらっしゃる事がよくわかりました。

又、標語や作文コンテストなど中学校・小学校の先生方にはご多忙の中ご協力ありがとうございます。そして、江津分区分では江津市更生保護女性会を中心に行われている「ミニ集会」に保護司も参加させていただいております。

ミニ集会の開催

ミニ集会とは、地域のコミュニティセンターや学校などに集まって、青少年健全育成のために非行の問題や子育ての問題などをとりあげ、親としてまた育成者として、その地域の実情に沿って話し合う数人から十数人規模の文字通りミニサイズの地域住民集会です。

毎年、江津市では、江津市更生保護女性会と保護司会が連携し、実施内容を打ち合わせしながら、駐在所や地域の青少年健全育成関係団体や保護者に呼びかけて開催されています。令和二年度の活動の一部を紹介します。

第七十回「社会を明るくする運動」を迎えて江津分区分では令和二年七月二十八日江津市更生保護女性会の皆さん(十五名)と永妻保護司と私神山の十七名でミニ集会をパレットごうつ研修室にて開きました。テーマは「更生保護と再犯防止の取り組みについて」の資料を参考に意見交換をしました。

今回の参加者は、各地域のリーダーの方がほとんどで、経験豊富な方ばかりでしたがこれまで対象者に巡り会った方は少なくこのような意見交換の場があると参考になり、これからも皆さんと協力して更生保護活動に協力して行きたいと言われてました。

今後も更生保護女性会の皆様と一緒に協力して更生保護活動を続けて参ります。

また、令和二年十二月十九日(土)に二宮町で開催した様子を紹介します。開催準備として、保護司を始め、地域の更生保護女性会、PTA役員、江津警察署、交流センター職員によりプログラムの内容検討、委員役割、地域へのチラシ広報などについて打合せ、また当日の講師依頼や出演関係者へのお願いし了解を得て準備完了しました。

- ①「更生保護とは」―永妻保護司から保護司の仕事や健全育成活動について
- ②「ネット社会の現実とトラブル防止」―田中少年指導員により、トラブル防止・いじめ差別の問題について
- ③更生保護女性会二宮支部による「紙芝居」の豪華な内容で実施され最新の情報や楽しい企画に大いに勉強になり、これからも関係者で綿密に計画し、毎年継続することを申し合わせました。



二宮町でのミニ集会